

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	製品・技術開発による事業化支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・ 本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援した。	県	健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援等		
		支援件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL —

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業			予算事業名	バイオ関連企業事業化支援事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	169, 771	149, 629	一括交付金 (ソフト)	補助	125, 453
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援する。				県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援する。		

活動指標名	支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	8件	7件	9件	3 件（9 件）	100. 0%	順調	県内バイオ関連企業が実施する製品化・事業化等に向けた技術開発等 9 件の事業を補助金で支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援件数」の目標値「3 件」に対し、実績値「9 件」であることから、順調と判断した。各企業が実施する技術開発等を支援したこと、事業化に向けた取組を促進できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を整理し、有識者による必要な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる取組を行う。	支援した企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を、ヒアリング等を通して整理し、有識者による助言や関連企業等とのマッチングなどを行い、製品化および事業化を加速される取組を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	健康・医療以外の分野において技術を開発する県内バイオ企業も製品化や事業化に向けて取り組んでいる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	令和7年度事業では、補助事業の支援対象とする分野を拡充し、県内バイオ企業の製品化や事業化に向けた取組みを支援する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	健康食品ブランド力強化		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・ 本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県産健康食品のブランド力を強化し販路拡大を図るため、沖縄県独自の認証制度のプロモーションや機能性食品の開発支援、県産素材のエビデンス活用支援等を行う。	県	機能性食品開発等の支援		
		エビデンス活用件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 健康食品ブランド力強化普及支援事業				予算事業名 健康食品ブランド力魅力アップ推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	23,748	20,863	一括交付金 （ソフト）	委託	26,672
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
認証制度のプロモーションや機能性食品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンスの活用支援を実施した。				健康食品開発に係る補助支援、ブランド力の強化支援、県内製造企業への製造工程に係る品質管理点検を実施する。		

活動指標名	エビデンス活用件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	5件	5件	7件	3件（9件）	100.0%	順調	認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援で当事業にて作成したエビデンスを7件活用した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「エビデンス活用件数」の目標値「3件」に対し、実績値「7件」であることから、順調と判断した。認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援を実施することで県産健康食品のブランド力強化につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
業界・消費者等へ認知度普及率や年代別普及率などを調査し、より効果の高いプロモーションを検討し、実施する。また、WQJ認証制度申請や県産素材のエビデンス活用支援を強化する。	業界・消費者等へ認知度普及率や年代別普及率などの調査結果を受けて流通小売向けに10月は商談会、11月は大交易会でプロモーションを実施した。また、消費者向けには10月に産業まつりを実施したため、商談成立や認知度向上につながった。さらに、認証制度申請支援および県産素材のエビデンス活用支援を強化し、認証制度は5件の合格、エビデンス活用は機能性表示食品届出を含め5件となった。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	県内健康食品産業の発展のため、ブランド認証商品の売り上げの増加、販路拡大のさらなる強化をする必要がある。また、健康食品の品質管理について重要視されていることから対応が必要となっている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	市場ニーズを汲んだ県産健康食品開発に係る補助支援を実施する。また認証制度の普及強化やエビデンス活用支援を実施する。加えて、県内製造企業への製造工程に係る品質管理点検を実施する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び沖縄バイオ産業振興センターの運営		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターおよび沖縄バイオ産業振興センターの施設、設備を適切に管理・運営するとともに、バイオ関連企業の研究開発や研究成果の事業化、事業拡大を支援する。	県	研究室及び研究機器の貸与、入居企業へのハンズオン支援		
		レンタルラボ提供室数（水回りが整備された室数）（内訳）		
		36室	38室（新規2室、継続36室、累計38室）	40室（新規2室、継続38室、累計40室）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

委託

29,494

61,049

令和6年度活動内容

16室（全16室、全室水回り整備有）に入居があった。また、186件の相談等に対応した。

予算事業名

沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

委託

29,494

27,669

令和6年度活動内容

2部屋の新規水回り整備を実施した。入居は27室、相談等は187件に対応した。

(単位：千円)

予算事業名

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

77,506

令和7年度活動計画

研究機器等を購入する。入居は16室、相談等は160件に対応する。

予算事業名

沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

13,424

令和7年度活動計画

入居は28室、相談等は160件に対応する。

活動指標名

レンタルラボ提供室数（水回りが整備された室数）（内訳）

R6年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R4年度

R5年度

35室

39室

41室

40室
(新規2室、継続38室、累計40室)

100.0%

順調

バイオセンターは施設設備、研究機器の修繕等、計9件（20,297千円）実施。振興センターは施設設備の修繕、機器の解体等、計8件（15,678千円）、2部屋の水回り整備（13,860千円）を実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年度、新たに2部屋の水回り整備を振興センターにて実施したことで、水回りが整備された室数はバイオセンターと合わせて全41室となり、活動目標値を上回ったことから順調と判定した。水回りを整備することでバイオ関連企業から入居希望の問い合わせも増えており、水回り整備有の部屋はほぼ入居が決まっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

○県債を活用するなど、財源確保に工夫を図りながら、水回り整備を進める。

○県債を活用することで計画的に水回り整備を進めた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	バイオ関連企業の研究開発推進および集積に取り組むため、水回りが整備されていない居室には、研究開発を行うために必要な水回り整備が整った。企業支援として、照明設備をLED化する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
① 執行体制の改善	管財課実施の、県有施設照明LED化工事を利用し、財源確保し、照明設備の整備を進める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	〇研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	ネットワークの構築		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・ 県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組めます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、バイオコミュニティが地域一体となって研究成果の情報発信や販路開拓等に取り組み、新たな事業や研究のマッチングを促進する。	県,事業者,大学等	県内外のバイオ関連ネットワークの構築		
		会議等の開催又は参加件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業			予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	9,166	32,738		一括交付金 (ソフト)	委託	37,603	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報を発信し、バイオ関連産業の振興に取り組んだ。					県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報を発信し、バイオ関連産業の振興につなげる。			

活動指標名	会議等の開催又は参加件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	4件	4件	10件	4件（12件）	100.0%	順調	全国のバイオコミュニティ関係者の会議および県外の関係機関との意見交換会議の計10件に参加し、沖縄バイオコミュニティ参画機関の情報発信および関係機関との連携を強化した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
「県内外のバイオ関連ネットワークに係る会議等の開催または参加件数」の目標値「4件」に対し、実績値「10件」であることから、順調と判断した。県外の関係機関に対し、情報発信および関係機関と連携したことで、参画機関の課題解決のためのネットワークを構築でき、事業化支援の推進につながった。							

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄バイオコミュニティ参画機関数の増加および連携強化を図るとともに、課題解決および事業化促進のため、毎年1回以上連絡会議等を実施する。	沖縄バイオコミュニティ参画機関に参加を呼びかけ、連携強化、課題解決の促進を目的とした総会を開催した。参画機関からは27名が当日参加し、バイオコミュニティ・企業・大学等からの取組紹介やパネルディスカッションを実施し、参画機関どうしの情報交換および交流を図った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	県外バイオコミュニティと比較すると県内企業とVCとのマッチングや専門家によるビジネスモデル検証などの相談が行いにくい状況にある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	年2回以上展示会等へ参画機関や関連企業が参加することでVCや専門家とのマッチング機会を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	〇研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	地域一体となった研究成果等の情報発信		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・ 県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組めます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、バイオコミュニティが地域一体となって研究成果の情報発信や販路開拓等に取り組み、新たな事業や研究のマッチングを促進する。	県,事業者,大学等	県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信		
		情報発信件数（ピッチコンテスト、展示会への参加等）（累計）		
		3件	6件（9件）	6件（15件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業			予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 (ソフト)	委託	9,350	32,738		一括交付金 (ソフト)	委託	37,603	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報発信をし、参画機関の事業化等に関する課題解決に取り組んだ。					県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報発信をし、参画機関の事業化等に関する課題解決に取り組む。			

活動指標名	情報発信件数（ピッチコンテスト、展示会への参加等）（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		展示会1件、投資家等へのプレゼン（ピッチコンテスト）3件に参加し、県内外の関係機関に対してバイオコミュニティ参画企業の情報発信をした。
	8件	11件	6件	6件（15件）	100.0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
「県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信件数」の目標値「6件」に対し、実績値「6件」であることから、順調と判断した。地域一体となった情報発信により、県内外の関係機関と連携を強化でき、バイオ関連企業の事業化の推進につながった。							

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度 of 取組改善案	反映状況
参画企業にアンケートを行い、企業の成長段階・分野ごとに情報を収集・整理することで情報発信に係る取組を改善する。	7月に企業向けのアンケートを実施し、企業課題を抽出した。特に人材不足や資金調達先の確保等が課題に挙げられていたため、多くの企業や大学等が参加する展示会およびピッチコンテストにて企業情報の発信をした。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	国等においても県内バイオ関連企業への支援を実施していることから、お互いに情報交換をし、より効果的な支援となるようにする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
② 連携の強化・改善	「お互いに情報交換を行い、より効果的な支援」となるよう、年4回程度、国等と情報交換をする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	〇研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	経営のハンズオン支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・ 県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組めます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や販路開拓、人材確保等の経営面での支援をし、企業が抱えるさまざまな経営課題の解決に取り組む。	県	県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援		
		経営支援件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)					
予算事業名			バイオ関連産業振興支援事業			予算事業名			バイオ関連産業振興支援事業		
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度					
一括交付金 (ソフト)		委託		35,063	32,738	主な財源		実施方法		当初予算額	
一括交付金 (ソフト)		委託		35,063	32,738	一括交付金 (ソフト)		委託		37,603	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画					
バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた経営に関する課題解決支援を行った。 (資金調達、人材確保等の支援)						バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた経営に関する課題解決支援を行う。(資金調達、人材確保等の支援)					

活動指標名		経営支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		17件	14件	11件	10件(30件)	100.0%	順調	令和4年度より継続して支援企業11社に、県内外の関係機関に対して情報発信の支援をしたほか、企業マッチング支援、事業・資金計画作成支援等を実施し、企業経営の改善につながった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「10件」に対し、実績値「11件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
支援開始時に、ヒアリングや面談を実施し、支援企業の課題等を抽出し、成長段階に応じた効果的な支援の実施に取り組む。	支援開始時に支援企業に対して面談をし、個社ごとの支援計画を策定した。支援計画に沿った支援を実施し、要望のある支援企業に対しては専門家を活用し、適切な支援となるよう、適宜支援計画の見直しを行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内にアドバイスやハンズオン支援する専門人材が不足しているため、支援内容および課題をとらえた支援方法を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	国等のバイオコミュニティ支援事業を活用し、専門人材の派遣やオンライン相談ができるようにする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	研究開発を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
本県の健康・医療関連産業におけるバイオデータの活用促進のため、バイオテクノロジーAI/IT技術等の情報科学技術を活用するための人材育成をする。 事業の自走化に向けての体制構築を検討する。	県	バイオインフォマティクス人材育成の講座・研修の開催		
		講座受講者数（累計）		
		30人	30人（60人）	30人（90人）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

健康・医療データサイエンス人材育成事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

23,343

20,909

令和6年度活動内容

人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施する。

(単位：千円)

予算事業名

健康・医療データサイエンス人材育成プログラム活用事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

20,035

令和7年度活動計画

人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施する。
自走化に向けての体制構築を検討する。

活動指標名

講座受講者数（累計）

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

実績値

R4年度

R5年度

50人

192人

270人

30人 (90人)

100.0%

順調

活動概要

受講者は延べ人数270名であった。入門コースは126名、中級コースは85名、合格コースは59名であった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「講座受講者数」の目標値「30名」に対し、実績値「270名」であることから、順調と判断した。講座の実施により、バイオデータの活用ができる人材の育成につながった。オンデマンド配信を取り入れており、受講者の都合に合わせて受講できることが実績値の増加につながっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

○これまでに集積したコンテンツを活用・発展して、受講者レベルに合わせた講座内容展開、実技講習の多様化に取り組む。

受講者へのアンケート調査、ヒアリングの結果を基に明確化された課題から、受講者のレベル、ニーズに合わせ、昨年度のプログラムを策定し改定した内容にし、求められている講座、実技の多様化に取り組んだ。
引き続き次年度は、アンケート結果から要望を拾い、ニーズに応えられるよう取り組む。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	アンケートやヒアリングの結果から企業の要望する人材レベルが幅広く、ニーズに合った講座が必要である。	⑧ その他	事業内の委員会において、自走化に向けてどのようなことが必要であるか検討する。
⑦ その他（改善余地の検証等）	自走化に向けて、どのような方法があるか模索する必要がある。	⑧ その他	先行事例の調査や産業界のニーズ調査するなど、体制構築に向けて、足掛かりを模索し取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	事業化を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業経営に必要な人材育成(講座や技術研修等)に取り組む。	県	経営に関するテーマの人材育成の講座・研修の開催		
		講座受講者数(累計)		
		20人	20人(40人)	20人(60人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業			予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	35,063	32,738	一括交付金 (ソフト)	委託	37,603
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
各企業における必要性の高い経営課題に関して、課題解決に必要な経営ノウハウに関するセミナーを実施した。				各企業における必要性の高い経営課題に関して、課題解決に必要な経営ノウハウに関するセミナーを実施する。		

活動指標名	講座受講者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		支援企業に対して、経営に関するテーマのセミナーを3回実施し、31名が受講した。
	70人	21人	31人	20人(60人)	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「経営に関するテーマの人材育成の講座受講者数」の目標値「20名」に対し、実績値「累計31名」であることから、順調と判断した。経営人材育成に必要な知識を蓄えることで、各企業における企業経営の改善につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
個社の成長段階等に合わせたセミナーを企画し、企業の課題解決につながる支援を実施する。	7月にOkinawaバイオコミュニティマッチングカンファレンスを実施し、27の機関が自社の事業内容や研究シーズについて発表し、県外VCや専門家による企業の事業化・事業拡大に必要なセミナーを実施した。参加者のアンケートでは97%という高い満足度の回答が得られた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	県外と比較して、各事業拡大フェーズに対応した専門家が不足していることや、ほか地域のコミュニティや国等と連携を強化して、支援の充実を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	ほか地域のコミュニティとの情報交換や国等の事業を活用しながら、企業が求める専門人材との相談回数の増加や企業向けセミナー等の回数増加に努める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○研究開発や臨床試験等の支援
主な取組	先端医療技術の実用化に向けた技術開発支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・再生医療や遺伝子治療等の先端医療分野において、これまでの研究開発の成果を生かし、また、国内外の動向を注視しながら産業利用等の観点を踏まえ、実用化を見据えた研究開発や臨床試験等の支援に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオテクノロジーを活用した先端医療分野の産業化を促進するため、県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等を支援する。	県	先端医療技術の実用化に向けた技術開発等支援の実施		
		研究開発支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		バイオ関連産業事業化促進事業			予算事業名		バイオ関連企業事業化支援事業
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	169, 771	149, 629		一括交付金 (ソフト)	補助	125, 453
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等を支援する。					県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等を支援する。		

活動指標名	研究開発支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		県内バイオ関連企業が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等 3 件の事業を補助金で支援した。
	3件	3件	3件	4 件（12件）	75. 0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
先端医療技術の実用化に向けた「研究開発支援件数」の目標値「4 件」に対し、実績値「3 件」であったことから進捗はおおむね順調と判断した。先端医療技術の実用化に向けた技術開発を支援するため、補助事業を公募し、多数の応募があったものの、事業費の範囲内で補助事業の目的達成に必要な予算配分をしたことから目標値に届かなかった。企業の技術開発等を支援したことで、実用化に向けた取組を促進できた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度 of 取組改善案				反映状況			
支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を整理し、有識者による必要な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる取組を行う。				支援した企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を、ヒアリング等を通して整理し、有識者による助言や関連企業等とのマッチングなどを行い、製品化および事業化を加速する取組を行った。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	技術開発に従事する人材不足など外部環境の変化によって、事業計画の遂行への影響が懸念される。	⑥ 変化に対応した取組の改善	事業計画の変更などに柔軟に対応できるよう、十分な事業期間の確保に取組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・ 事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業（先端医療分野）の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や人材確保等の経営面での支援をし、企業が抱えるさまざまな経営課題の解決に取り組む。	県	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援の実施		
		経営支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業			予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	35,063	32,738	一括交付金 (ソフト)	委託	37,603
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた、経営に関する課題解決支援を行った。 (資金調達、人材確保等の支援)				バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた、経営に関する課題解決支援を行う。 (資金調達、人材確保等の支援)		

活動指標名	経営支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	6件	6件	5件	4 件 (12件)	100.0%	順調	支援企業11社に情報発信の支援をしたほか、企業への面談を通じた事業・資金計画作成支援や課題解決支援（専門家派遣等）を実施したことで、企業経営の改善につながった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「4 件」に対し、実績値「5 件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
支援開始時にヒアリングや面談を実施し、支援企業の課題等を抽出し、成長段階に応じた効果的な支援の実施に取り組む。	支援開始時に支援企業に対して面談をし、個社ごとの支援計画を策定した。支援計画に沿った支援を実施し、要望のある支援企業に対しては専門家を活用し、適切な支援となるよう、適宜支援計画の見直しを行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内にアドバイスやハンズオン支援する専門人材が不足しているため、支援内容および課題に応じた支援方法を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	国等のバイオコミュニティ支援事業を活用し、専門人材の派遣やオンライン相談ができるようにする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療関連の情報発信		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・ 事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業（先端医療分野）が有する技術等の事業化を促進するため、先端医療分野における県内バイオ関連企業の取組について情報発信する。	県	先端医療関連の研究成果、取組等の情報発信		
		報告会の開催件数（累計）		
		1 回	1 回（2 回）	1 回（3 回）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

バイオ関連企業振興支援事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

33, 751

32, 738

令和6年度活動内容

先端医療分野の技術等の事業化を促進するため、企業の技術開発の状況等を広く情報発信するための機会提供を支援した。

予算事業名

バイオ関連企業振興支援事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

37, 603

令和7年度活動計画

先端医療分野の技術等の事業化を促進するため、企業の技術開発の状況等を広く情報発信するための機会提供を支援する。

活動指標名

報告会の開催件数（累計）

R6年度

進捗状況

活動概要

実績値

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回

1回

4回

1 回（3 回）

100. 0%

順調

県内外の関係機関に対して情報発信する機会を提供したことで、技術開発の連携や販路開拓等に資する支援ができた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

先端医療関連の研究成果、取組の情報発信のための「報告会の開催件数」の目標値「1 回」を達成したため、進捗状況は順調と判断した。今後の技術開発の連携や事業化を見据えた販路開拓等の推進につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

さまざまな機会をとらえて継続的に県外イベント等での情報発信の機会を提供する。

OKINAWAバイオコミュニティ マッチングカンファレンス2024、沖縄バイオコミュニティ総会などで出展など支援を実施したところ、技術開発の連携や事業化を見据えた販路開拓等の機会提供につながった。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	情報発信については、支援企業が必要とする時期に実施することが効果的であることから、継続的な機会提供が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	継続的に情報発信の機会を提供する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	バイオ関連施策等の情報発信		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・ 高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県が推進する健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業等の研究成果の情報発信に取り組み、産学医の連携を構築する。	県	県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信		
		情報発信件数（累計）		
		3件	6件（9件）	6件（15件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業		予算事業名		バイオ関連産業振興支援事業
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	9,350	32,738	一括交付金 (ソフト)	委託	37,603
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
地域一体となった研究成果等の情報発信し、共同研究推進等に向けたマッチング等を実施する連携体制の強化に取り組んだ。				地域一体となった研究成果等の情報発信し、共同研究推進等に向けたマッチング等を実施する連携体制の強化に取り組む。		

活動指標名	情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	3件	6件	9件	6 件 (15件)	100.0%	順調	展示会 1 件、研究発表（ピッチ）のイベント 8 件に参加し、県内外の関係機関に対して、情報発信した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信件数」の目標値「6 件」に対し、実績値「9 件」であることから、順調と判断した。県内外の関係機関と連携を図り、企業の事業化の加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
健康・医療分野のイベントで研究発表を行い、事業化・事業拡大につながるよう企業に対して情報発信支援を実施する。 県内外の各拠点とのネットワークを構築し、産学医が連携できるようマッチング支援体制の強化を図る。	BioJapanなど健康・医療分野の展示会やバイオコミュニティ内で実施したイベントにて研究発表を行ったことで、県内外企業・金融機関との商談が実現した。また、展示会にて県外のバイオコミュニティ拠点とのネットワークを構築に取り込んだ。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内企業の県外でのマッチング機会に限られることから、県外イベントへの積極的な参加や国等の事業活用を検討する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	国等の事業を活用して、BioJapanやほかのバイオ関連イベントでの情報発信やマッチングの機会創出を令和6年度より多く実施する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	県外の関係機関との連携		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、各地域のバイオコミュニティとのネットワーク構築に取り組み、他地域と連携した企業マッチングや共同研究の推進を図る。	県	バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携		
		連携機関数（内訳）		
		6機関	8機関（新規2機関、継続6機関、累計8機関）	10機関（新規2機関、継続8機関、累計10機関）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

バイオ関連産業振興支援事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

9,350

32,738

令和6年度活動内容

県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、県外イベントへの参加や企業マッチング機会の創出に取り組んだ。

予算事業名

バイオ関連産業振興支援事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

37,603

令和7年度活動計画

県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、県外イベントへの参加や企業マッチング機会の創出に取り組む。

活動指標名

連携機関数 (内訳)

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R4年度

R5年度

7機関

8機関
(新規 1 機関、継続 7 機関、累計 8 機関)

15機関
(新規 7 機関、継続 8 機関、累計 15 機関)

10機関
(新規 2 機関、継続 8 機関、累計 10 機関)

100.0%

順調

地域バイオコミュニティ (5 機関)、グローバルバイオコミュニティ (2 機関)、県外の関連機関 (1 機関) と継続して連携を強化したほか、新規に県外の関連機関 (7 機関) と連携を構築した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携機関数」の目標値「10機関 (累計)」に対し、実績値「15機関 (累計)」であることから、順調と判断した。県内企業のマッチングおよび共同研究を推進し、企業の事業化加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

他地域のバイオコミュニティやバイオ関連産業拠点との連携を密にし、企業連携・資金確保等を目的としたイベントを実施する。

県外のバイオコミュニティ参画機関とオンライン会議等で情報交換するとともに、事業拡大を目的としたマッチングイベントとして、BioJapanに県内企業13社が参加し、情報発信や商談をした。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 （内部要因）	県内企業の県外でのマッチング機会に限られることから、 県外イベントへの積極的な参加や国等の事業活用を検討する 必要がある。	⑤ 情報発信等の強 化・改善	国等の事業を活用して、BioJapanやほかのバイオ関連イベ ントでの情報発信やマッチングの機会創出を令和6年度より 多く実施する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施 策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	拠点整備計画等の策定		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
健康・医療分野を軸とした新たな産業拠点の形成に向けた拠点構想や基本計画を策定するため、調査等をおして拠点のあり方や具体的な整備内容・手法等について検討する。	県	拠点整備計画等の策定		
		拠点構想の策定	基本計画策定に向けた調査	
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		健康・医療・バイオ関連産業拠点形成推進事業				予算事業名		バイオ産業拠点形成推進事業	
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
						主な財源		実施方法	
						当初予算額			
県単等		委託		10,583	19,928	県単等		委託	
								16,731	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
新たな産業拠点の形成に向けて、中核となる施設の整備方針、整備スケジュール等を含めた基本計画（案）を策定する。						新たな産業拠点の形成に向けて、中核となる製造支援施設の整備基本計画を策定し、施設整備に係る各種条件を整理する。			

活動指標名		拠点構想の策定		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	新たな産業拠点に関する調査を実施し、関連企業へのヒアリングや有識者委員会での助言等を得ながら、拠点の整備方針などを整理した拠点整備基本計画（案）を検討した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果								
目標値である基本計画策定に向けて調査し、拠点の整備方針などを整理した整備基本計画（案）を検討したため、進捗は順調と判断した。令和7年度以降は整備基本計画を策定し、新たな拠点形成に向けてより具体的な検討を進める。								
(2) これまでの改善案の反映状況								
令和6年度の取組改善案					反映状況			
拠点の整備に向けてより実現性の高い整備手法を検討するため、関連する企業等へヒアリングし、より多くのニーズ等を踏まえた基本計画を策定する。					拠点整備に向けて、県内企業への詳細なヒアリングを実施しニーズに基づく整備基本計画（案）を検討した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	拠点の整備に関する方針等をまとめた整備基本計画を策定するにあたり、県内企業等へのヒアリングだけでなく、有識者による助言等を得ながら検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	有識者委員会での助言等を得ながら、整備基本計画を策定し、具体的な整備に向けて取組む。